

甲建第617号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

甲佐町長 奥名克美



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のこのことについて、
別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県甲佐町

国土交通省道路局所管の補助事業の採択を受けて、これまで多くの地方道（町道）の整備を図ってきました。又、現在も交付金等の適用を受け事業を実施しておりますが、財政事情等から整備率の向上が見込めない状況にあります。

一方で、改築後10数年も経過しますと道路面の傷みがひどくなってきております。道路の舗装補修等維持工事については町単独事業で実施せざるを得ないため、町にとっては深刻な財政負担となっており、十分な維持管理ができないのが現状です。

道路整備を促進するための財政支援措置とともに、道路の適正な維持管理を図るため、道路維持管理交付金等の制度創設を要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

熊本県甲佐町

○現状

①生活道路の整備

地方の生活道路の現状は狭隘で危険な未改良区間が多い。又、道路の維持管理が不十分である。

②交通事故対策

通学路を主とした歩道の整備等が遅れている。

③交通渋滞対策

都市部周辺での渋滞により通行に支障をきたしている。

○課題

①通勤、通学が日常となっている地域住民の暮らしを支える生活道路の整備が緊急の課題である。又、適正な維持管理ができるような財政措置が必要。

②通学路の歩道整備、急カーブの改良等の交通安全対策を進めるべきである。

③都市圏内の恒常的な渋滞対策を進めることが必要。平面交差を立体交差への改良。また、熊本駅など市内中心部へのアクセス道路の整備。

②-2 地域の目指すべき将来像

熊本県甲佐町

◎九州の中央に位置する熊本都市圏（熊本市をはじめ周辺15市町村で構成）は、これまで九州における政治・行政的な中心を担ってきました。

現在では、縦軸としてのJR鹿児島本線、九州縦貫自動車道、国道3号、横軸としてのJR九州豊肥本線、国道57号が交差する九州における交通の要衝として発展してきました。そのような中、平成23年春に予定されている九州新幹線鹿児島ルート^{（注）}の全線開業により、九州内外への移動の時間距離が大きく短縮され、九州内外との交流が促進されます。

また、九州縦貫自動車道を中心とした縦軸とともに、現在着手中の九州横断自動車道延岡線・中九州横断道路などの横軸の高速道路網の整備促進を図っていく必要があります。

九州横断自動車道延岡線は、九州中央部において九州の東西を結びつけるだけでなく、九州縦貫自動車道や東九州自動車道と一体となって九州の循環型高速交通ネットワークを構成する大変重要な路線であります。

これらの路線が整備されることにより、沿線地域の諸産業の振興が図られるだけでなく、九州地域全体の物流の効率化や人的交流の促進が期待されるとともに観光客数の増大が見込まれ、それに伴う関連産業の発展が期待できます。

また、高速道路網の整備促進とともに、地域の交流・連携に重要な役割を担う国・県道の早期整備による広域交通網の整備が不可欠であります。